

## －はじめに－

人口減少や地域コミュニティの希薄化など、子どもを取り巻く環境が変化  
する中、いじめや不登校、教職員の働き方改革への対応といった教育課題は、  
ますます複雑化・多様化しています。私たちは今、予測困難な「VUCA」の時  
代の中にあり、その中で子どもたちが主体的に人生を切り拓くための資質・  
能力を育むことは、社会全体で目指すべき取組の一つです。

これらの諸課題を乗り越え、「より良い学校教育を通じて、よりよい社会  
を創る」という理念の実現を図る「社会に開かれた教育課程」を具現化する  
ためには、「地域とともにある学校づくり」を持続可能な取組として根付か  
せていく必要があります。学校、家庭、地域が互いの専門性を尊重し、対等  
なパートナーとして連携・協働する。この「社会総がかり」で子どもたちを  
支える教育環境の構築こそが、今まさに不可欠となっています。

本県では「滋賀の教育大綱（第4期滋賀県教育振興基本計画）」の柱の一  
つに、「みんなで学びに関わる」を掲げ、子どもや学校だけでなく、社会全  
体を学びの当事者と捉え、持続可能性に配慮しながら、家庭や地域、企業・  
NPOなど社会のみんなで学びに関わる取組を推進しています。

そうした中、本年度は「みつめなおして、よりよく」をテーマに掲げ、活  
動の原点に立ち返る機会を大切にまいりました。事業を改めて見つめ直  
す中で、学校・家庭・地域が「つながることの良さ」を分かち合い、さらな  
る取組の質的向上を図り、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一  
体的推進を軸に、実践を積み上げていただいたと感じております。

本実践事例集は、県内各地域でこの一年間、地域の実情に応じた創意工夫  
によって積み上げられた歩みをまとめたものです。本事例集が、各地域にお  
ける取組をさらに拡充させ、質的に高めていくための糧となることを切に願  
っております。

最後になりましたが、日頃より本事業をとおして地域全体で子どもたちの  
成長を支えるとともに、地域づくりに御尽力いただいている関係者の皆様に  
心より感謝申し上げますとともに、今後も引き続き御支援を賜りますようお  
願い申し上げます。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報提供や寄稿をいただきました皆  
様に厚くお礼申し上げます。

令和8年（2026年）3月

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課